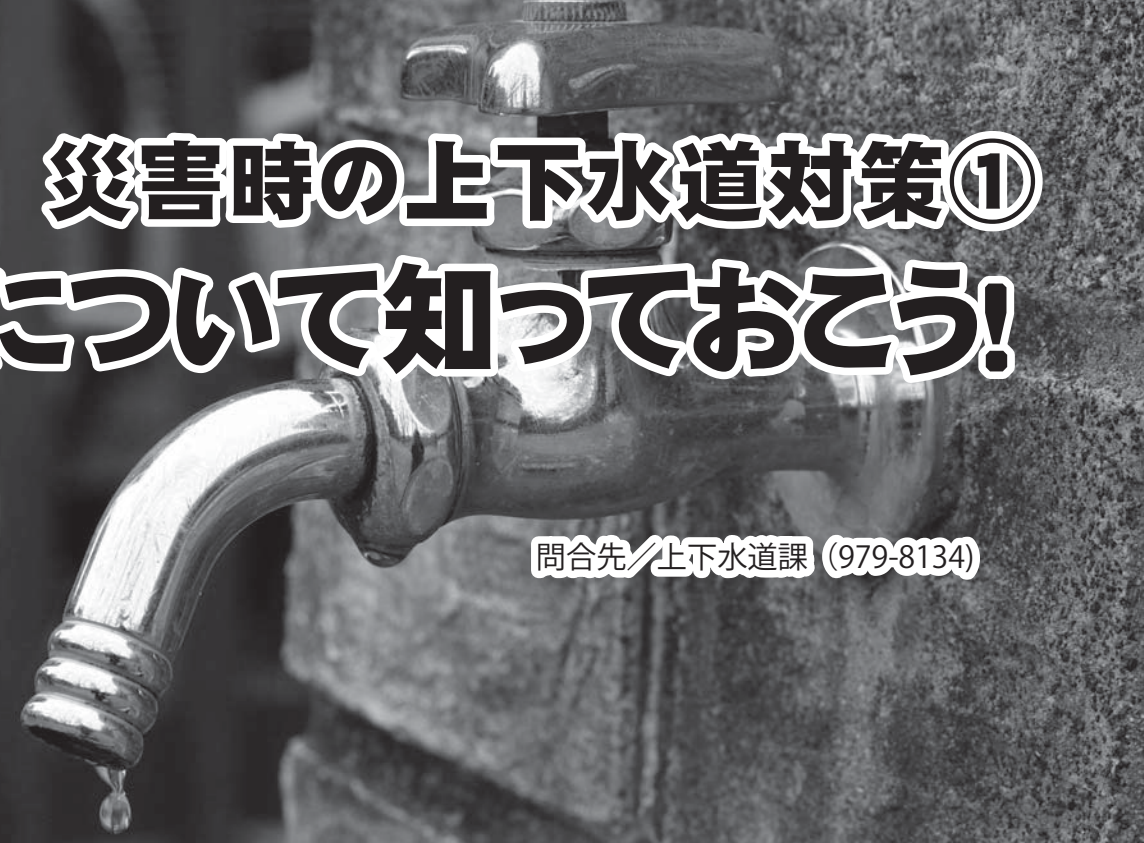


【特集】災害時の上下水道対策① 断水について知っておこう!

問合せ先/上下水道課 (979-8134)



町の課題と今後の取り組み

昨年10月に発生した「令和元年度東日本台風」は県の送水管破断による大規模な断水災害で町が行った給水活動や広報活動などに多くの課題が残りました。いつ起こるか分からない災害に対して、対応可能な内容から順次対策、検討に取り組みます。

給水活動

- (課題) 給水場所の選定。
- 運搬手段の検討。
- (対策・検討内容) 速やかに給水活動が安全にできる広くて誰にでもわかる場所を選定する。
- 水の運搬についてボランティアなどへの協力依頼を含めて検討する。

広報活動

- (課題) 広報車を用いた情報伝達方法の検討。
- 断水解消後の水道の使用方法的周知。
- (対策・検討内容) 給水場所や給水時間などについて、正確な情報を提供する。
- 広報車の適正な走行速度および効果的な広報文の読み上げ時間に配慮する。
- 給水車や広報車の必要台数の把握。
- ホームページやSNSなどさまざまな媒体での正確な最新情報の更新。
- 断水地区自治会との情報連携強化。



断水するといつになるの？

普段、当たり前のように水道が使用できているとき、水道管の中は常に水で満たされ、圧力がかかっています。工事で水道管を切断する、または災害で水道管が壊れるなど浄水場から水を配れなくなるような断水が発生した際は、水道管の中に空気や砂、土などの異物が混じることがあります。また、鉄製の水道管が使われている地域では、水道管内のさびがはがれて、水を濁らせる原因となる場合があります。



▲台風により破断された県営駿豆水道送水管

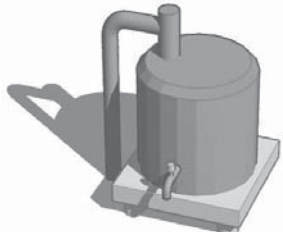
断水するときの注意事項

- 断水や断水解消後の濁り水に備えて、お風呂などに水を貯めておきましょう。
- 水が出て、断水時間中はご使用を控えてください。断水時間中に水を使用すると、詰まりや故障の原因となります。特にトイレ・給湯器(温水器)・浄水器は使用しないでください。
- 断水前や断水中にトイレ・給湯器(温水器)のバルブ(止水栓)をできるだけ閉めておきましょう。

断水が解消されると

断水した水道管に、再び水が戻ってくるようになるか？
水は、水道管のさびなどを巻き込み、空気が混じった状態で水道管の中を進んできます。
町が計画的に行う工事などによる断水の場合は、復旧の際に水道管の内部を洗浄してから送水します。しかし、災害による断水の場合は十分な洗浄作業ができないことがあります。

(受水槽をご使用の人へ)
受水槽(貯水タンク)内に水が残っている間は水道を使用できませんが、受水槽内の水を使い切ると水がなくなります。また、断水解消後に濁り水が受水槽に入らないよう、断水前や断水中に受水槽へ入る水道のバルブ(止水栓)を閉めてください。



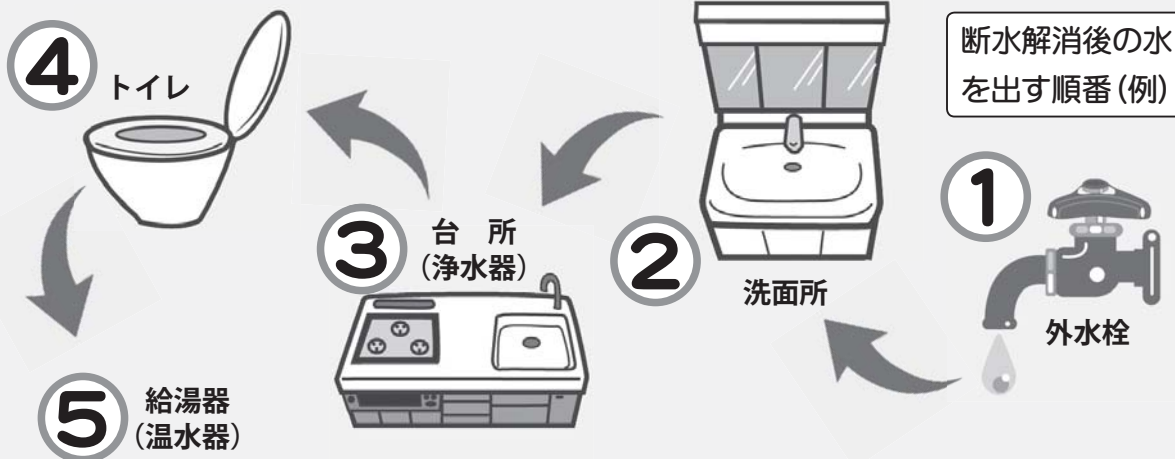
☆各家庭、共同住宅などのオーナー、管理会社で管理している各給水機器のバルブ(止水栓)の取り扱いについては取り扱い説明書や各メーカーの相談窓口、オーナー、管理会社などにご確認をお願いします。

断水解消後に蛇口を開いたり、トイレを使用したりすると空気の混じった水が勢よく出てきます。蛇口から出てきた水が白い(お米のとぎ汁のような)場合、コップなどに入れて、しばらくして透明な水になるようなら、それは水に混じった細かい空気の泡が原因です。この場合、問題なく飲み水として使うことができます。

赤く濁った水の場合は、さびなどの異物が原因です。各家庭で水を流し、透明ないつもおどりの水になってからご使用ください。

断水解消後に水の使用を開始する時は

断水解消後の水を出す順番(例)



断水解消後に初めて水を使用するとき、空気や濁り水が出ることがあります。空気や濁り水に含まれたさびなどの小さな異物は、トイレ・給湯器(温水器)・台所の浄水器などに詰まって故障させてしまうリスクがあります。そのため、外水栓などの蛇口で濁りがなくなるまで水を流す作業が必要となります。
※蛇口は一気に開かず、ゆっくり開けてください(一気に開けると、空気を含まれた水が飛び散ることがあります)。
※共同住宅などで外水栓がない場合、最初に水を出すのは洗面所となります。水を出す前に吐水口(水が出る場所)に水流を整えるフィルター(泡まつキャップ)がある場合は、目詰まりなどを防止するためフィルターを外してください(外し方は取り扱い説明書、各メーカーの相談窓口などで確認してください)。